

講演会

俯瞰する

サイエンスを

アートと

ART + Science

あいち  
サイエンス  
フェスティバル  
2015 in 蒲郡  
9/19 ⇒ 11/3

アートとサイエンスの融合から生まれた“プロジェクションマッピング”のアーティストと、科学を人の営みとしてとらえる科学ジャーナリストが、それぞれの視点から、“アート”と“サイエンス”の文化としての類似点と相違点を探ります。また、そこから浮かび上がる“文化としての科学”について、参加して下さる皆さんとともに考えてみたいと思います。

2015

10/17 sat

14時～15時30分

会場：生命の海科学館

1F サイエンスショールーム

無料

事前申込み不要です  
直接会場へお越しください

招待講演

創り手が話すプロジェクションマッピングの世界



各地で人気を博しているプロジェクションマッピングは、制作者たちの地道な作業とテクノロジー、そして創作への飽くなき探究心によって発展してきました。プロジェクションマッピングの制作者は何を考え、どのように作品を創り出すのか。その制作手法と表現事例についてお話しします。

愛知工科大学 工学部情報メディア学科 准教授

杉森 順子さん

筑波大学芸術専門学群卒。CGデザイナーとしてテレビ番組、CMのタイトル制作後、静岡放送報道ディレクター、番組制作会社ディレクター・プロデューサーを経て、2009年より現職。また、アーティストとして自ら作品制作も手がけている。主な作品：トヨタ産業技術記念館 20周年記念プロジェクションマッピング「未来に続く夢」(2014)、蒲郡市生命の海科学館企画展「SAISEI展」(2013)、あいちトリエンナーレ「現代美術 in とよはし」(2012)など。専門は、プロジェクションマッピング、映像表現、メディアデザイン。



科学の事件に実害はあるのか？

他人の論文の下書きを盗んでの丸写し、実験をしないでコピーしたグラフや画像、マジックペンで描き込みした偽装マウスなど、さまざまな科学の事件が今までに起こっています。過去の事件を振り返り、科学という営みと社会との関係を考えます。

北海道大学 大学院 理学研究院 特任准教授

藤吉 隆雄さん

千葉大学画像工学科卒、早稲田大学大学院政治学研究科修了。プロカメラマン、科学技術ライター等を経て、2010年6月～2014年3月名古屋大学特任助教。2011年スタートのあいちサイエンスフェスティバルを企画立案し、初代ネットワーク事務局をつとめる。2014年4月から現職。専門は科学技術ジャーナリズム、マンガ研究、写真工芸科学。



虹のキャラバンサライ  
あいちトリエンナーレ2016  
パートナーシップ事業



蒲郡市生命の海科学館  
◀◀◀ がまごおりしいのちのうみがくかん  
Gamagori Museum of Earth, Life and the Sea

〒443-0034 愛知県蒲郡市港町 17-17 TEL (0533) 66-1717  
開館時間：午前9時～午後5時 生命の海科学館 検索

JR・名鉄蒲郡駅  
南口から徒歩3分

